

# アジア市場経済学会 ～創立15周年記念パンフレット～



アジア経済発展の象徴：上海浦東地区の高層ビル群

JAFAME

(Japan Academy for Asian Market Economies)

# アジア市場経済学会プロフィール

## 巻頭言

名誉会員・顧問 飯沼博一（第2代会長）



私が会長になり、上部団体として経済学会連合加盟を目的として大きく舵を切ってから、早9年が経過し、以後三代の会長を得て現在西澤先生が会長職にあります。その間近畿大学は加盟に関わって大きな役割をなされ、現在会員300名を目指して挑戦をして頂いております。とりわけ学会創立15周年記念国際シンポジウムが、九州経済産業局の後援と阪和興業株式会社及びダイハツディーゼル株式会社の協賛のもと行われるこ

とは、特記すべき事でありませう。

私は日本文明の独自性についてサミュエル・ハンチントン氏他分類学者の定説に共感し、日本を取り巻くアジアが様々な問題を持つ現状も忘れてはならないと思ひ、今後、TPP・WTO・FTA・APECを尊重すべきと考えております。勿論以上は歴史・理論・政策を核とする論理からです。終わりに名誉会員・顧問をはじめ会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

## 創立

1997年11月22日

## 目的

本学会はアジア市場に関する歴史、理論および実証的研究等を行い、また、関連諸学会ならびに諸機関との連携を図り、アジア経済ならびに世界経済の発展に寄与するとともに、学問の進歩に貢献することを目的としています。

## 事業

1. 全国研究大会および部会研究会等の開催
2. 年報等の刊行
3. 海外諸国の研究者および研究団体等との国際交流
4. その他本会の目的を達成するための諸事業

## 上部団体

日本学術会議および日本経済学会連合に加盟

## 【設立趣意】抜粋

アジアに関する全国的組織での学会は、すでに多数存在するが「本学会」の設立意図は、前述の研究方法に賛同する商学・経済学・経営学などの分野の研究者が学際的に力を合わせて、アジアを構成する国々におけるこれまでの経済発展の軌跡とこれからの成長などアジアの未来を見据えながら研究しようとするところにある。例えば、アジアの急激な市場経済化に伴って生じている社会・環境(ecology)問題などを含む広範な諸問題を、わが国からの視点に止まることなく国際経済全般の発展という視点から、アジア・欧米諸国の研究者との交流を図りながら、国を越えた叡智を集めて研究を進めていこうとするものである。多くの研究領域の方々のご賛同とご参加が得られれば幸いである。

## アジア市場経済学会

Japan Academy for Asian Market Economies

- [TOP](#)
- [プロフィール](#)
- [全国大会・東部部会・西部部会](#)
- [その他の学会活動](#)
- [役員名簿](#)
- [学会会則](#)
- [ご入会の案内](#)

アジア市場経済学会 本部事務局  
〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11 - 6  
近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科  
飯島高雄研究室内 アジア市場経済学会本部事務局  
TEL : 0948-22-5655 (代表)  
FAX : 0948-23-0536  
E-mail : [tijima@fuk.kindai.ac.jp](mailto:tijima@fuk.kindai.ac.jp)

アジア市場経済学会 東部部会事務局  
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学商学部 井上崇通研究室 (821室) 内  
アジア市場経済学会東部部会事務局  
TEL/FAX : 03-3296-2150 (直通)  
E-mail : [tinoue@kisc.meiji.ac.jp](mailto:tinoue@kisc.meiji.ac.jp)

アジア市場経済学会 西部部会事務局  
〒470-0296 愛知県みよし市黒笹清水370  
愛知大学名古屋校舎研究支援課気付  
アジア市場経済学会西部部会事務局  
TEL : 0561-36-1120  
FAX : 0561-36-1529

本学会はアジア市場に関する歴史、理論および実証的研究等を行い、  
また、関連諸学会ならびに諸機関との連携を図り、  
アジア経済ならびに世界経済の発展に寄与するとともに、  
学問の進歩に貢献することを目的としています。

### 新着情報

2012年6月30日～7月1日	第16回全国研究大会および創立15周年記念国際シンポジウムのご案内 <b>New</b>
2012年3月31日	東西合同部会研究報告会 開催 ※第4回 運営委員会・理事会 開催
2012年3月15日～3月17日	海外視察研修を実施しました
2012年3月9日～3月10日	立命館大学 国際セミナー「ASEAN・Divideの克服とメコン川地域開発 (GMS)」開催
2012年2月25日	西部部会開催
2011年12月11日	アジア市場経済学会 (西部部会)・東アジア地域研究会合同研究報告会 ※第3回 運営委員会・理事会 開催
2011年12月3日	東部部会開催

随時、学会・研究会の開催情報を更新しています。

## アジア市場経済学会 15年の歩み（沿革）



岡本喜裕（第4代会長、元総務委員長・本部事務局長）

本学会は、今年11月22日をもって満15年を迎える。しかし、15年よりも、もっと長い時間が経過した気がする。それは、本学会が既存学会のルールの上に乗ったものではなく、「設立趣意書」「会則」「内規」等全てを新しく作ることから始めねばならなかったからである。初期の頃は「設立発起人」を中心に険しい頂きに挑むが如きであった。それでも21世紀はアジアの時代、それに相応しい学会をと会員一同思いを一にして来た。創立の翌年（1998年）には中京地区を中心に部会が開催されるようになり、1999年には西部部会に発展した。

2007年1月には悲願であった日本学術会議協力学術研究団体への加盟、5月には日本経済学会連合への加盟が実現し、名実ともに真の学会へと脱皮した。またこの年の6月には神奈川大学での全国大会において投票による初の役員選挙が行われ、その後これに準じる形の投票による役員選挙が定着した。

国際交流としては、2009年4月インドネシアボゴール大学との間に「国際学術交流協定」を締結した。近畿大学を主催校とした今年の第16回全国研究大会では国際シンポジウムが開催される。今後の国際的発展を願って止まない。

1996年	7月:「アジア市場経済研究会」スタート
1997年	7月:「学会設立準備委員会」発足 11月:「創立記念大会」明治大学で開催
1999年	11月:「西部部会」設置
2001年	6月:第5回全国研究大会(広島修道大学)にて最初の役員改選
2005年	7月:第9回全国研究大会(広島経済大学)にて2回目の役員改選 11月:英文名称をAMERAからJAFAME(Japan Society for Asian Market Economies)に変更,会報名も「JAFAME ニュース」に変更
2006年	6月:第10回全国研究大会(近畿大学)にてWorkshop Session開催 12月:「学会創立10周年記念委員会」発足
2007年	1月:日本学術会議協力学術研究団体指定 5月:日本経済学会連合加盟 6月:投票によるはじめての役員改選
2008年	4月:「研究グループ」発足 6月:貢献理事者(15名)表彰,学会賞を新設
2009年	6月:『アジア市場経済学会10年の歩み』発行
2011年	7月:初めての会則どおりの役員選挙実施,本部事務局が福岡県に移る 11月:東アジア地域研究会との合同研究会開催
2012年	6月:第16回全国研究大会にて創立15周年記念国際シンポジウム開催

# 顧問挨拶

## 歴代会長の業績

顧問 松江 宏 (第3代会長)



歴代会長の業績を独断的にワンポイント評価することによって、私の挨拶に代えたい。

初代会長北嶋忠男先生は本学会の発展・充実に向けて全方位にエネルギーを費やされた。第2代会長飯沼博一先生は上部団体・公的機関への加盟の件もあって会則の改正・内規の整備等に精力的に取り組まれた。第3代会長松江宏は創立10周年記念事業に取り組んだ。第4代会長岡本喜裕先生は本部理事兼総務委員長というキャリアを活かして総務的な業務の改善・充実等に手を掛けられた。第5代会長金子逸郎先生は研究委員長兼東部部会責任者というキャリアもあって研究活動の活性化・若手の育成等に尽力された。現会長西澤信善先生は国際交流や関西地区・九州地区の会員開拓等に意欲的に取り組んでおられる。

創立15周年を契機に本学会の更なる発展・充実が期待される。

## 歴代会長

1997年11月	北嶋忠男氏(明治大学)初代会長就任
2003年12月	飯沼博一氏(和光大学)第2代会長就任
2005年7月	松江宏氏(愛知大学)第3代会長就任
2007年7月	岡本喜裕氏(和光大学)第4代会長就任
2009年6月	金子逸郎氏(明治大学)第5代会長就任
2011年7月	西澤信善氏(近畿大学)第6代会長就任

# 会長挨拶

## 「会員 300 人体制」をめざす

会長 西澤信善



アジア市場経済学会は 1997 年 11 月 22 日にアジア研究を志す約 70 名の有志によって創設され、本年をもって創立 15 周年を迎えました。これを記念し、国内外から著名な学者、行政官を招聘し、「創立 15 周年記念国際シンポジウム」を開催するに至りました。この間の学会の歩みを振り返りますと、会員は創設時の 3 倍の 200 名に達し、カバーする分野も本学会の強みとする流通、貿易、投資、マーケティング、卸小売業などに加え、最近では、経済、地域統合、環境保全、地域研究などにも広がりを見せています。そして、この間の着実な学術研究活動が評価され、日本学術会議および日本経済学会連合にも加盟しました。諸先輩の並々ならぬご努力に感謝申し上げたいと思います。われわれの責務は学術面での貢献はもとより、この上昇トレンドを引き継ぎ会員を 300 名に拡大し、次の節目である 20 周年を迎えたいと考えております。

## 創立 15 周年に寄せて

前会長 金子逸郎



学会創立 15 周年をすべての会員の皆様ともども喜びたいと思います。本学会が年々充実し今日を迎えられたのは、学会員全員の熱い支持の賜ものです。

アジアを含む過去 2 世紀の世界史は、いわば西欧文明中心主義に彩られていたといえましょう。経済や文化の中心地ほど高度で、周辺地域は未開発といった世界観でした。

だが、21 世紀の入り口を境に欧米＝世界経済・文化の中心とする価値観は瓦解しつつあることが窺えます。時代を逆転しかねぬ勢いで新興諸国が台頭しているのは既知の事実です。

このような時こそ、アジア市場経済学会のあるべき姿や役割がますます明らかとなりました。新興著しいアジアの変化の実情・調査に造詣が深い西澤会長のもとでの学会発展を大いに期待します。

アジア市場経済学会第16回全国研究大会  
創立15周年記念国際シンポジウムのご案内

アジア市場経済学会は第16回全国研究大会を本年6月30日(土)および7月1日(日)の二日間にわたり、近畿大学(産業理工学部)の主催で福岡市および飯塚市にて実施いたします。大会第1日目は、今年は本学会が創立されて15年になることを記念し「創立15周年記念国際シンポジウム」を開催します。本シンポは「アジアに活路を見出す九州経済」と題し、日中韓の有力エコノミストを招聘し、九州経済とアジアの関係強化について論議を展開します。大会第2日目は通常自由論題セッションを予定しております。

記

平成24年6月30日(土)大会第1日目 ～創立15周年記念国際シンポジウム～

場所：博多都ホテル桔梗の間 (JR博多駅筑紫口・地下鉄15番出口すぐ)

開会式 (9:00～9:30)

基調報告 (9:30～12:20)

基調報告1 田代雅彦 (九州経済調査協会・調査研究部長)

基調報告2 龍造寺健介 (本多機工株式会社・代表取締役社長)

基調報告3 永池克明 (久留米大学大学院教授・ビジネス研究所長)

パネル・ディスカッション (13:30～16:00)

コーディネーター 河知延 (近畿大学准教授)

パネリスト 林正徳 (釜山大学名誉教授)

陳建安 (復旦大学経済学部教授)

富川盛武 (沖縄国際大学教授・前学長)

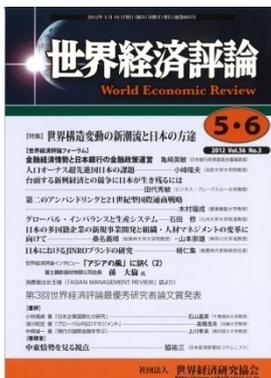
九州経済産業局 (交渉中)

後援：九州経済産業局

※ なお言語は日本語でおこないます。

平成24年7月1日(日)大会第2日目 ～全国研究大会自由論題～

場所：近畿大学産業理工学部(福岡県飯塚市柏の森11-6) 時間：10:00～14:30



(『世界経済評論』2012年5/6月号に掲載)

# 副会長挨拶

## 新たな飛躍を目指して

副会長 村松潤一



熱気と期待に満ちた学会創立記念大会から、早くも15年が経過しようとしている。本学会の特徴は、研究分野、キャリアの点で実に様々な会員からなっており、また、一人一人が多様なネットワークを持っていることである。それは、部会、大会での報告や議論に大いに反映され、学会として多面的かつ包括的な知見の獲得に成功している。また、最近では、アジアを中心とした学会活動の国際化が急速に進められており、新たな息吹が芽生えつつある。今後、わが国経済とアジアはその関係をさらに深めていくのであり、本学会が取り上げるべき研究テーマも一層深化し、また、その質をますます高めていくことになる。アジア市場経済に関わる研究を先導すべく、大きな成果が本学会から生まれることを心より願うものである。

副会長 小林 守



アジア市場経済学会は創立以来、幅広い視点でアジアの政治経済社会の動向を分析できる研究者によって構成され、活動を続けておりますが、近年では大学研究者のみならず、企業に所属する研究者の参加も増えており、学術的のみならず、実践的な研究成果の発表・共有の場としても発展しております。

当学会ではこうした研究活動の一層の発展と、それを通じた社会への知的貢献を促進するために、2010年から会員が執筆した優れた著作を対象として、選考・表彰する「学会賞」と若手会員の優れた研究業績ならびに活動を顕彰する「奨励賞」を設けております。それぞれの賞はその著作、論文内容が高い水準であることは言うまでもありませんが、日常の当学会の活動への貢献度の高さも併せて勘案され、選考されることになっております。

会員各位におかれましては、「学会賞」、「学会奨励賞」の対象としてふさわしい会員の業績・活動につきまして積極的な推薦（自薦含む）をお願いできれば幸甚です。

## 委員会活動 1 総務委員会



総務委員会委員長 山中高光

総務委員会の業務内容は「・・・本学会の総合的な任務に当たるほか、会報ならびに会員名簿を作成する」(『会則』第17条) ことです。学会創立以来、財務・組織編成・会則などの管理・会員会報 (JAFAME ニュース) ・学会賞・その他 (ホームページなど) の業務に、本部事務局と総務委員会が密に (一体化して) 当たってきました。学会の

走期間が終わり、新体制が動き始めた現在、本部事務局と総務委員会の連携などの業務のあり方にも新たな対応が求められています。ホームページの維持管理は本部事務局に移管しましたが、今後細部を詰め、環境変化に適切に対応しながら、本会の一層の発展に貢献できるように努めていきたいと思っております。皆様方のご意見・ご協力を宜しくお願いいたします。

## JAFAME ニュース

・年2回発行

**JAFAME**  
ニュース  
NO.15-1 September 1, 2011

第15回アジア市場経済学会全国大会が7月2日、3日にあたり、専修大学神田校舎において盛大に開催されました。大会実行委員長である前田先生をはじめ、小林先生、石川先生、高橋先生、飯塚先生及び関係スタッフの方々にご厚く御礼申し上げます。

来年は近畿大学において第16回を迎えるにあたり、さらなる学会の発展を目指したいと考えていますので、学会員の皆様にはご意見・ご要望をお寄せください。

**今回の主なトップニュース**

1. 新会長のご挨拶
2. 2011年度役員選挙結果報告
3. 新体制発足、新会長に西澤信善先生
4. 全国研究大会報告
5. 新総務委員長の抱負
6. 新研究学院長委員長の抱負
7. 学会運営に関する事項
8. 全国大会開催の概要

**アジア市場経済学会** 〒820-8555 福岡県飯塚市栞の森11-6  
 Japan Academy for Asian Market Economies  
 アジア市場経済学会本部事務局 飯塚高橋研究室内  
 TEL: 0948-22-5635 / FAX: 0948-23-0636  
 E-mail: tijima@fuk.kindai.ac.jp  
 HP: http://www.jafame.com

**1. 新会長のご挨拶**

新会長 西澤 信善

平成23年7月1日会則に基づいた最初の選挙で理事が選ばれ、その理事の互選でこのたび会長に選出されました。まことに、光栄なことと存じております。本学会は1997年11月22日に創立記念大会を明治大学で開催して以来、15回の全国研究大会を重ね、14号の学術誌「アジア市場経済学会年報」を発行してまいりました。また、組織の拡充、会則の整備を図り、会員数200名近くを数えるに至りました。この間、充実した研究活動が認められ、日本

1

**JAFAME**  
ニュース  
NO.15-2 February 1, 2012

2011年12月3日(土)に本年度第1回の東部部会研究会が、12月11日(日)に同じく第1回西部部会研究会(東アジア地域研究会と共同開催)と運営委員会・理事会が開催されました。部会事務局の先生方及び関係スタッフの方々にご厚く御礼申し上げます。

本年は第16回全国研究大会を近畿大学(産業理工学部:福岡県飯塚市)の主催で開催いたします。研究活動の活性化を通じて、さらなる学会の発展を目指したいと考えていますので、学会員の皆様には一層のご協力を賜りますようお願いいたします。また、学会の運営に關しまして、ご意見・ご要望をお寄せください。

**本ニュースの見出し**

- I. 会長挨拶
- II. 第16回全国研究大会・創立15周年記念国際シンポジウムのお知らせ
- III. 「海外会員」の新設について
- IV. 海外視察研修参加者の募集
- V. 学会ウェブサイトの変更
- VI. 学会の研究活動に関する事項
- VII. 学会の運営に関する事項

**アジア市場経済学会** 〒820-8555 福岡県飯塚市栞の森11-6  
 Japan Academy for Asian Market Economies  
 TEL: 0948-22-5635 (代表)  
 E-mail: tijima@fuk.kindai.ac.jp  
 HP: http://www.jafame.jp

**I. 会長挨拶**

会長 西澤 信善

今年はアジア市場経済学会が創設されて15周年の記念の年にあたります。本年の第16回全国研究大会は近畿大学(産業理工学部:福岡県飯塚市)の主催で6月30日(土)および7月1日(日)の両日にわたって開

1

## 委員会活動 2 研究委員会

研究委員会委員長 井上崇通



本学会が発足して15年、その間、わが国とアジア諸国の関係はその姿を大きく変えてきています。中国、ベトナム、インドをはじめとして、ミャンマーなどの新興国の台頭などその勢いはますます大きなものとなってきています。そのような中、アジア諸国との関係を研究テーマとしている本学会の重要性もより大きなものになってきています。その捉え方は、生産拠点、物流拠点、消費拠点といったモノ作りから消費にいたるプロセスの拠点として、また、インバウンド、アウトバウンドといった観光視点、さらには、文化的・社会的な影響力の高まりも指摘できます。このように考えをめぐらすと、さまざまな分野の先生方が集う本学会であればこそその貢献のしかたが期待できると確信しております。会員諸先生からの研究テーマのご提案を期待しております。

## 全国研究大会

第1回	明治大学	実行委員長	*	1997年11月
第2回	明治大学	代表世話人	金子逸郎	1998年11月
第3回	愛知大学	実行委員長	松江宏	1999年11月
第4回	和光大学	実行委員長	岡本喜裕	2000年7月
第5回	広島修道大学	実行委員長	稲田実次	2001年6・7月
第6回	専修大学	実行委員長	前田和實	2002年6月
第7回	愛知学院大学	実行委員長	水谷允一	2003年6月
第8回	国士舘大学	実行委員長	信達郎	2004年6月
第9回	広島経済大学	実行委員長	吉田義宏	2005年7月
第10回	近畿大学	実行委員長	大西威人	2006年7月
第11回	神奈川大学	実行委員長	秋山憲治	2007年6月
第12回	愛知大学	実行委員長	村松幸廣	2008年6月
第13回	和光大学	実行委員長	岩間剛一	2009年6月
第14回	広島修道大学	実行委員長	近藤和明	2010年7月
第15回	専修大学	実行委員長	前田和實	2011年7月
第16回	近畿大学	実行委員長	西澤信善	2012年6・7月

\* 第1回は創立記念大会、実行委員長はなし

## 委員会活動 3 年報委員会

### 北島忠男初代会長が目指していたアジア市場経済学会の姿

年報委員会委員長 中村竜哉



私は、明治大学大学院で指導をいただいた初代会長北島忠男先生からお誘いを受けて、本学会創立時に会員となりました。第5回全国大会（2001年）では、北島先生と共同研究として中国証券市場に関する一考察を発表しております。この研究は、「アジア市場経済学会を発展させるためには、理事が率先して学会発表しなければならない」、「そのためにも会長である自分が次の全国大会で学会発表する」という北島先生の発言がきっかけとなっております。現在、本学会は理事から大学院生まで、年齢や職歴に関係なく、自由に真剣に研究成果を発表する場となっております。これこそが、北島先生が目指していた姿でありました。今後も微力ながら本学会の発展に貢献していきたいと考えております。

## アジア市場経済学会 年報

ISSN 2185-1379  <b>アジア市場経済学会 年報</b>  第14号 2011  <i>Japan Academy for Asian Market Economies</i>	アジア市場経済学会年報 第14号 2011  目次	
	I 【統一論題】 1 中国自動車産業の発展と外資自動車メーカーの戦略行動 —日系自動車メーカーを中心として— コメント 2 世界経済危機後の東アジアの均衡のとれた成長へ向けて コメント	村松潤一 石田和男 桐 麗華 服部健治 山中高亮 グエン・ドック・ラップ
II 【自由論題】 3 経済発展における政治的要因の重要性 —中国・廈門経済特区の事例研究より— コメント 4 東アジアにおける物流インフラと経済発展 コメント 5 日本における安全保障貿易管理と AEO 制度に関する研究 —その水際チェック機能と国際物流の最適化をめざして— コメント 6 中国ベンチャーキャピタルの発展と問題点 コメント 7 東南アジア地域企業の経営的関心 —中小・中堅企業の事例調査を中心として— コメント 8 中国企業の海外展開 —ハイアールの海外進出戦略を事例として— コメント 9 中国広告市場における現状分析と課題 —中日広告市場比較の視点から— コメント 10 アジアの高度化するサービス需要の獲得戦略 —アウトバウンド策とインバウンド策— コメント 11 GDP Parity 均衡値平価理論による BRICs の分析 コメント	下野寿子 久野輝夫 葉山幸嗣 松尾 仁 魏 鍾振 山上 徹 宮崎千秋 石原伸志 草野英信 末津敏男 石川雅啓 唐 珂 関根雅則 小林 守 平本賢了 王 玉蘭 松江 宏 曾 憲忠 朝岡敏行 小森正彦 井上崇通 榎田善弘 田口奉堂	27  39  49  61 73  85  95  103  119
III アジア市場経済学会研究報告会 IV 入会案内・入会申込書 V 「年報」論文掲載に関する内規 VI 査読に関する内規		

## 委員会活動 4 国際交流委員会

### 国際化は重点課題

国際交流委員会委員長 西澤信善

本学会のミッションを達成するには、アジアの大学、研究所との交流は不可欠です。国際化は本学会の重点課題として位置づけられています。ここ数年、海外視察研修を通じて地道な国際交流を続けてまいりました。過去 3 回実施しました海外視察研修では、インドネシアおよび中国の大学等を訪問しました。本年 3 月に訪問した武漢の華中農業大学からは共同研究の提案がありました。現在のところ、海外視察研修は国際交流の中心的行事になっております。さらに、国際化を推進する目的で「海外会員」を新たに設けることにしました。規約改正を次の会員総会に諮る予定にしています。当面、日本留学組を中心に会員になっていただくことを考えております。「海外会員」に期待するものは、共同研究のパートナー、海外視察研修の際の訪問先そして全国研究大会での発表などです。すでに加盟の意思表示をしてくれているものもあり、会員拡大にもつながると期待されます。

### 海外視察研修（上海・武漢）



2012年3月15日  
上海芳賀電機、  
三菱商事のみなさんと

2012年3月16日  
華中農業大学の  
教員のみなさんと



## 部会活動 1 東部部会

東部部会は毎年 11 月ないし 12 月と翌年の 3 月に部会研究会を開いております。本年度 12 月の部会研究会は経済産業省の担当官から今年の「通商白書」のポイントおよびジェットロの方からは今話題になっているミャンマーの現状についてそれぞれご報告いただきました。3 月の研究会（下記参照）は東西合同部会のため、東部からは久木田弦氏、西部からはカンボジア国籍のンガウ・ペンホイ氏の報告を受けました。お二人とも新進気鋭の若手研究者です。

### 東西合同部会研究報告会

日時: 2012 年 3 月 31 日(土)13:30~16:00

場所: 明治大学駿河台校舎研究棟会議室 2 階第 9 会議室

内容: 第 1 報告: 久木田 弦(日本マイクロソフト株式会社)「タイの洪水調査報告」

コメンテーター: 古川久継(日本経済研究所)

第 2 報告: ンガウ ペンホイ (名古屋大学)「ASEAN 経済統合におけるカンボジア経済の現状と課題」

コメンテーター: 西澤信善(近畿大学)

## 部会活動 2 西部部会

西部部会は毎年 12 月および翌年の 2 月に部会研究会を開いております。今年度の 12 月の研究会は関西の研究者を中心に組織されている東アジア地域研究会（代表：西口清勝氏）と合同の研究報告会をもちました。他の研究会と合同の研究報告会をもつのは初めての試みですが、50 名近くの参加があり活発な討議が展開されました。2 月の部会研究会は広島修道大学で開催され佐々木建洋氏および細川大輔氏の熱のこもった報告がありました。

### アジア市場経済学会(西部部会)・東アジア地域研究会合同研究報告会

日時: 2011 年 12 月 11 日(日)9:30~17:00

場所: キャンパスプラザ京都(第 1 会議室)

内容: 共通論題テーマ: 3・11 東日本大震災後の日本経済と東アジア

第 1 報告: 高橋伸彰(立命館大学)「3・11 東日本大震災が日本経済に与えた影響と今後の課題」

第 2 報告: 中嶋慎治(松山大学)「韓国の国際化戦略—日本への示唆—」

第 3 報告: 古川久継(日本経済研究所)「日本企業の海外進出と邦銀の動向

— 今次震災およびタイ洪水が及ぼしつつある影響に関するレビュー—

第 4 報告: 国吉澄夫(中村学園大学)「日本企業の対中事業の発展と課題

～中小企業にとっての事業環境を中心に～

## 役員等

2012年6月30日現在

<b>会長</b>	西澤信善(近畿大学)	
<b>副会長</b>	小林 守(専修大学)	村松潤一(広島大学)
<b>顧問</b>	飯沼博一(和光大学)	神田善弘(広島修道大学)
	高井真(関西学院大学)	出牛正芳(専修大学)
	中村那詮(明治大学)	松江宏(愛知大学)
	水谷允一(愛知学院大学)	森岡正憲(拓殖大学)
<b>理事 (東部部会)</b>	秋山憲治(神奈川大学)	石川和男(専修大学)
	井上崇通(明治大学)	岩間剛一(和光大学)
	小林守(専修大学)	篠原敏彦(明治大学)
	園田哲男(高千穂大学)	竹内慶司(高千穂大学)
	武田巧(明治大学)	中村竜哉(拓殖大学)
<b>理事 (西部部会)</b>	バンバン・ルディアント(和光大学)	前田和寛(専修大学)
	柯麗華(静岡産業大学)	近藤和明(広島修道大学)
	鈴井清巳(京都産業大学)	関川靖(名古屋文理大学)
	富川盛武(沖縄国際大学)	西澤信善(近畿大学)
	村松潤一(広島大学)	村松幸廣(愛知大学)
<b>会計監事</b>	山中高光(花園大学)	
<b>幹事</b>	崎章浩(明治大学)	太田幸治(愛知大学)
	浅利隆文(和光大学)	飯島高雄(近畿大学)
	ゲン・ドゥック・ラップ(広島修道大学)	小林弘明(千葉大学)
	下野寿子(北九州市立大学)	新本寛之(広島修道大学)
	高橋義仁(専修大学)	瀧田修一(お茶の水女子大学)
	土屋仁志(愛知大学)	服部健治(中央大学)
	濱田太郎(近畿大学)	林田秀樹(同志社大学)
	葉山幸嗣(明治大学)	古川久継(日本経済研究所)
	丸谷雄一郎(東京経済大学)	ンガウ・ペンホイ(名古屋大学)

## 入会のご案内

入会ご希望の方は、次頁の入会申込書あるいは同一形式・同一項目で作成された入会申込書に所定事項を記入し、紹介者（正会員）2名の署名捺印を受けて、本部事務局あるいは部会を通じて本部事務局へお申し込みください。

年会費は下記のとおりです。

正会員・一般会員・顧問	10,000円
院生会員	5,000円
海外会員（新設予定）	（理事会で個別に決定する）
個人賛助会員 1口	15,000円 1口以上
法人賛助会員 1口	25,000円 1口以上
（会員資格等についてのお問い合わせは本部事務局まで）	

アジア市場経済学会 入会申込書

アジア市場経済学会 御中

年 月 日

ふりがな 氏名				年 月 日生
現住所	〒 電話: Fax: e-mail:			
研究分野				
所属機関		役職		
所在地	〒 電話:			

主な研究歴 (研究歴は最終学歴および職歴などをご記入ください)

年 月 日	所 属 機 関 名 ・ 役 職 名

主な研究業績

年 月 日	著書・翻訳・論文など	出版社・掲載雑誌名

現在の研究テーマについてご記入ください (別紙にお書きいただくことも可能)


(申込者)

貴学会への入会を申請いたします。  
希望所属部会 (東部・西部)

氏名: 印

(推薦者)

先申込者は本学会員として適格であり、  
ここに推薦いたします。

①所属

氏名: 印

②所属

氏名: 印

新入会員の場合、会費納入は理事会承認後、直ちに納入していただくことになります。

(事務局使用欄)

年 月 日	運営委員会にて	仮承認 ・ 承認
年 月 日	理事会にて	仮承認 ・ 承認

## 連絡先

### アジア市場経済学会 本部事務局

〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森 11-6  
近畿大学産業理工学部 飯島高雄研究室内  
アジア市場経済学会本部事務局  
TEL : 0948-22-5655 (代表)  
FAX : 0948-23-0536  
E-mail : tijjima@fuk.kindai.ac.jp

### アジア市場経済学会 東部部会事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1  
明治大学商学部 井上崇通研究室 (821 室) 内  
アジア市場経済学会東部事務局  
TEL/FAX : 03-3296-2150 (直通)  
E-mail : tinoue@kisc.meiji.ac.jp

### アジア市場経済学会 西部部会事務局

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-6  
愛知大学名古屋校舎研究支援課気付  
アジア市場経済学会西部部会事務局  
TEL : 052-564-6118  
FAX : 052-564-6218

アジア市場経済学会～創立15周年記念パンフレット～

発行日：2012年6月30日

編集：アジア市場経済学会 総務委員会・本部事務局